

各位

平成20年11月4日
近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室広報 担当：立花
(TEL：03 - 3257 - 1661)

旅行取扱状況の概観（平成20年9月分）

海外団体旅行では、一般団体の取り扱いが大きく増加したが、学生団体は低調で前年実績を下回った。団体合計では前年実績を大きく上回った。海外企画旅行は、ホリデイが前年を割る結果であった。海外個人旅行は海外他社企画とその他が好調であったが、国際航空券は前年実績を下回る結果であった。海外旅行合計としては、一般団体の北京オリンピックの精算月が9月になった関係で前年比108.6%と前年実績を上回った。

国内団体旅行では、一般団体は引き続き低調であったが学生団体は堅調で前月実績を上回った。国内団体旅行合計としては前年を下回る結果であった。国内企画旅行は、メイトの取扱がやや持ち直したが、前年比95.7%と前年実績を割り込んだ。国内個人旅行は、店頭部門移管の影響を大きく受け、JR券が半減、宿泊券・その他クーポン類も観光券を除いて前年実績に届かなかった。この結果、国内旅行合計は、前年比93.8%で前年実績を下回る結果となった。

外国人旅行は、大型団体の取り扱いが無く、前年比63.6%と低調であった。

9月の総取扱額は多少回復傾向にあるが、前年比99.0%と前年には僅かに届かなかった。

(以上)